

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名		夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
				全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科		夜・通信	36	0	48	84	13	
現代政策学部	社会経済システム学科		夜・通信	34	0	36	70	13	
経営学部	マネジメント総合学科		夜・通信	38	0	28	66	13	
理学部	数学科	坂戸	夜・通信	17	4	15	36	13	
		紀尾井町		0	0	53	53	13	
	化学科			33	4	44	81	13	
薬学部	薬学科		夜・通信	0	5	55	60	19	
	薬科学科			32	5	26	63	13	
	医療栄養学科			16	0	35	51	13	

(備考)

専門科目欄には、専門科目以外の科目群〈関連科目・自由科目〉の授業科目も含まれる。

*専門科目欄には、当該学部（学科）においてのみ履修できる授業科目を計上することができるとされているため。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ポータルサイト（JUシラバス）トップページにて掲載 アドレス https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 <https://www.josai.jp/about/director/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス (株)代表取締役社長	2017.4.1～ 2021.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	元独立行政法人大学 入試センター理事長	2017.4.1～ 2021.3.31	大学経営全般に関 する指導、助言及び 管理、監督
非常勤 宮崎 公男 理事	元東京高裁判事	2017.4.1～ 2021.3.31	コンプライアンス に関する指導、助言 及び管理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学学術顧問	2019.4.1～ 2023.3.31	学術研究に関する 指導、助言及び管 理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ○授業計画書《シラバス》の作成過程について シラバス掲載内容及び作成にあたっての留意は以下のとおり (1) 科目基本情報 ①科目名 ②配当年次 ③開講期間 ④単位数 ⑤担当教員名 ⑥期間・曜日・時限・教室 (2) 授業の目的・目標等 ①授業の概要 ②授業の目的 ③修得できる力 ④授業の到達目標 ⑤実務経験と授業内容との関連 ※実務経験を有する教員の場合は記述する。 (3) 準備学習の指示 (4) 講義スケジュール (5) 教科書 (6) 参考文献 (7) 授業の方法 (8) 成績評価方法 ＊到達目標の達成度を測定できる方法を記述 ・評価方法 ・割合 ・評価基準など (9) オフィスアワー・居室 (10) その他特記事項 なお、シラバス作成にあたり、3つのポリシー及び当該学部・学科のカリキュラムポリシーに準じて記述するよう留意し作成している（結果として大学の教育の質の保証に繋がることを意識し作成にあたる）。 ○授業計画の作成・公表時期 例年、前年度の10月中旬頃に各教員が担当する授業担当科目が決定する。 それに伴い、11月初旬頃からそれぞれの教員がシラバスの作成が始まり、学部内のチェックを得て新年度までに完成させる。 公表方法及び公表時期については、当該年度開始と同時に大学のポータルサイト（JUシラバス）や大学ホームページから閲覧できるようになっている。	
授業計画書の公表方法	〈シラバス〉 大学ポータルサイト（JUシラバス）トップページにて掲載 アドレス https://junavi.josai.ac.jp/camweb/top.do

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

それぞれの学部、学科にて学年毎に履修すべき科目や選択科目を設置している。

授業は原則として、前期・後期それぞれ90分授業を基本(実験・実習は除く)とし、15週の授業で構成している。さらに1年間の履修上限を設定することで、学生の各授業科目の学習時間の確保を行い、単位制度の実質化につなげている。

履修した授業科目に対しては、あらかじめシラバスで記してある成績評価方法(試験やその他の評価方法(課題・レポート等))により評価をしている。なお、いずれの授業科目も授業時数の1/3以上欠席した場合には、原則として当該授業科目の受験資格を失うこととしている。

(単位授与及び成績評価基準について)

学生が履修した授業科目に対して、試験その他の方法(レポート等)により学習評価をしたうえで、その単位を認定する。単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。評価の基準については、次のとおりとなっている。

成績評価	評価基準(点)	合否
S	100～90	合格
A	89～80	合格
B	79～70	合格
C	69～60	合格
F	59以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価方法及び評価基準については大学設置基準に基づいて、学則第26条ならびにシラバスに記載されている。本学では、GPA制度を導入しており、学生は自らの学習成果の推移を知り、学修の自己管理ができるようになっていく。GPAの結果は、学科毎に通知する成績表や成績証明書に記載している。

学則に示される成績評価の基準は、100点満点で、100～90点が「S」評価、89～80点が「A」評価、79～70点が「B」評価、69～60点が「C」評価で、以上が合格とし、59点以下が「F」評価の不合格となる。それぞれのGPAのポイントは、4、3、2、1、0となっている。

単位については、大学設置基準に基づき学則15条で定められている。

(GPAの基準)

成績評価(表示)	評価の基準(点)	合否	G P
S	100～90	合格	4
A	89～80	合格	3
B	79～70	合格	2
C	69～60	合格	1
F	59以下	不合格	0

[G P × 当該科目の単位数] の合計

G P A = $\frac{\text{[G P} \times \text{当該科目の単位数] の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (F 評価を含む)}}$

※不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA 計算式に算入されない。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

(成績評価基準)

学生便覧(入学時に配付)の「履修の手引と手続き」に掲載

* 学生便覧入手方法

城西大学教務課宛てに電話連絡の上入手可能

TEL 049-271-7723(直通)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【経済学部】

経済学部は、本学の建学の精神をバックボーンとし、地域社会および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、以下に示す能力を修得したと判断された人に学士（経済学）を授与します。

- 一般教養、外国語、情報処理などにおける基礎的な能力と、社会を生き抜くための幅広い能力
- 経済学を中心とする社会科学の基礎的な知識に基づき、論理的思考によって変化する社会を適切に分析・理解できる能力
- 現実の経済問題を適切に把握して、実際の経済社会に応用でき、社会の一員として日本の内外で活躍できる能力
- グローバルな視点に立ち、日本や世界の諸問題の解決に取り組む能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経済学部

基本科目 24 単位

専門科目 52 単位

関連科目 52 単位

計 128 単位

【現代政策学部】

現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身に着け、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の8項目を教育目標とします。

- 課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。
- 自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。
- 自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術（ICT）を効果的に活用する力。
- 幅広い分野に対する知的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。
- 実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。
- 社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。
- 社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。
- 課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。

上記に掲げる資質や能力を身に着けたもので、本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修して130単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

現代政策学部

基本科目 44 単位

専門科目 50 単位

関連科目 36 単位

計 130 単位

【経営学部】

経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。

- 幅広い教養とマネジメント（経営学、マーケティング、会計など）についての専門的知識
- 地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー）
- マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力
- 起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力
- 多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

経営学部

基本科目 28 単位

専門科目 72 単位

関連科目 32 単位

計 132 単位

【理学部】

理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適應できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。

(数学科)

理学部数学科では、論理的思考ができ、現実の諸問題を数理的に解明し解決できる能力を備えた人材、および中学・高校の数学教員として教育現場で教育を行うことのできる能力を備えた人材を育成することを目標として、以下の態度、意欲、技能を習得することを目指した学位授与方針を満たした人に学士の学位を授与します。

- 数学の知識と応用によって現代社会の多様な問題を数理的に理解する態度と問題を解決しようとする意欲（態度と意欲）
- 数理科学の知識とコンピュータ技術によって現代社会の多様な問題の解決に貢献する技術と能力（技術と能力）

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 数学科

基本科目 12 単位

専門科目 88 単位

関連科目 18 単位

専門・関連 6 単位

計 124 単位

(化学科)

理学部化学科は、社会が持続的に発展するために必要な人材の育成を目標として、以下の能力を修得した人に学士の学位を授与します。

- 大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍ができる能力
- 化学の修得をつうじて獲得した、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的素養
- 修得した化学の知識と技能を基礎として、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力
- 教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

理学部 化学科

基本科目	12 単位
専門科目	98 単位
関連科目	18 単位
計	128 単位

【薬学部】

薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（薬学、薬科学、医療栄養学）の学位を授与します。

(薬学科)

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を備え、関連する広範な分野で活躍する能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力
- 医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点をもって積極的に利用する能力
- 医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力
- 栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師として、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬学科

基本科目	10 単位
専門科目	170 単位
関連科目	6 単位
計	186 単位

(薬科学科)

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬学、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 薬科学科

基本科目	10 単位
専門科目	108 単位
関連科目	6 単位
計	124 単位

(医療栄養学科)

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（医療栄養学）の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- 医療制度、他職種の役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力
- 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

－卒業要件－

(学則第 27 条)

卒業するために、必要とされる最低単位数は、次のとおりとする。

薬学部 医療栄養学科

基本科目	9 単位
専門科目	116 単位
関連科目	6 単位
計	131 単位

【卒業判定の手順】

最終学年（4年生〈薬学科は6年生〉）の成績評価表をもとに、各学部にて定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔各学部において定められた分野の科目の評価を確認〕

なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）に行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページにて公表
大学ホームページアドレス <https://www.josai.ac.jp/>
なお、卒業に必要な科目及び単位数については、「学生便覧」（入学時に配付）の「履修の手引と手続き」に掲載
＊学生便覧入手方法
城西大学教務課宛てに電話連絡の上入手可能。
TEL 049-271-7723(直通)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.josai.ac.jp/about/information/basic_data.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:大学情報公開学校法人城西大2020年度事業計画 対象年度:2020年度)
公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/information/index.html
中長期計画(名称:大学情報公開学校法人城西大中期計画 対象年度:2020~2024年度)
公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/information/index.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.josai.ac.jp/about/activity/evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 城西大学経済学部は、常に新しい時代を視野に入れ、学際的な研究・教育を実践します。さまざまな個性、文化的背景を持つ学生が、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を養い、それぞれの個性を伸ばし、地域や国際社会でそれらを生かしたキャリアを形成していくことができるよう教育を行います。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 経済学部は、本学の建学の精神を実現するため、地域および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、経済学部が定めたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、以下に示す能力を修得したと判断された者に学位を授与します。 ●経済学についての基礎知識を修得している。 ●教養教育を通じた批判的思考・論理的汎用力を修得している。 ●経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。 ●経済学に関連する幅広い教養と十分な語学力を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 経済学部は、世界と日本の経済の仕組みや動向を理解、分析し、問題を解決する力を身につけることを目標とした教育課程を編成しており、経済学やデータサイエンスに関する基礎科目と専門科目、幅広い分野にわたる教養科目、様々な外国語科目を配置しています。なお、段階的な積み上げにより、基礎知識を確実に修得し、基礎知識の修得後は、学生の個人的関心に応じた学習目標の設定を可能としています。 また、学生の進路の道しるべとして、「アジア・国際経済コース」「企業・産業経済コース」「金融・証券経済コース」「地域・環境経済コース」「データサイエンスコース」の5つのコースを設定しています。 ●基礎となる経済学の諸概念を学ぶために、初年次教育として基礎科目を1年次に配置しています。また、専門分野である経済学を幅広い視点から理解していくために、人文科学、社会科学、自然科学など、他分野の知識が修得できるように教養科目（関連科目（第二分野））を配置しています。 ●経済学の専門科目については、経済学を体系的に理解するために段階的な学習に配慮しています。基礎的な知識と理解を深めるために、「経済事情A」「経済事情B」「経済学の考え方」「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」を1年次より選択必修科目として配置するとともに、経済学科として修得すべき関連科目（第一分野）を選択必修科目として配置しています。また、履修コースごとに設置されたコース科目は、基本的に2年次以降に配置し、経済学に対する体系的な理解を深めます。さらに、経済学において求められる情報・データを収集し活用することのできる能力を向上させるために、統計学やデータサイエンスに関する科目を配置しています。加えて、コースを超えた諸問題を学ぶために関連科目（第一分野・第二分野）や教職関連科目を配置

しています。これらの科目を履修することで経済学的思考力を涵養します。

- 最新の金融市場に関する情報や金融業界の取り組み、金融機関の経営や業務内容など、生きた金融の知識を習得するために、金融の現場で働く実務家を講師として招いて行われる「特殊講義（寄付講座）」を配置しています。
- ともに学ぶ教員や仲間との関係を深め、知ること、学ぶことの楽しみを味わい、各種アカデミックスキルの習得を促し、円滑に大学での学修や生活に適応することを支援するために、1年次に「フレッシュマンセミナー」を配置しています。2年次以降は、1年次に形成した各種スキルを基盤とし、学生自身が関心のあるテーマを深め、自ら探求するとともに、個性を伸ばしていくことができるように「ソフォモアセミナー」「ゼミナール I」「ゼミナール II」をそれぞれ配置しています。これらの科目は必須科目であり、履修することでコミュニケーション能力、論理的思考力、総合的判断力を涵養します。
- 外国語科目では、国際社会におけるコミュニケーション能力を涵養するために、英語（留学生は日本語）を必修とし、その他にも、ヨーロッパやアジアの国々の言語を選択科目として配置しています。また、オール・イングリッシュで学べる科目も配置しています。さらに、経済学部独自の海外研修プログラムも配置しています。これらの科目を履修することで「読み」「書き」だけでなく、「話す」「聴く」能力を涵養します。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

（概要）

城西大学経済学部は、学問を通して、論理的・多面的に考え、自ら問題解決する力を身につけ、自らの個性を生かして地域や国際社会に貢献することが期待できる、以下のような人物の入学を求めています。

知識・専門性・技能

- 高等学校で学んだ主要教科・科目について、教科書レベルの知識をもっている。
- 文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。

思考力・判断力・表現力

- 課題解決のために知識・技能を多面的、総合的に活用できる。
- 自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。

主体的に取り組む態度

- 世の中の現状を経済という観点から考えることに関心をもち、それを学修や行動に移すことができる。
- 知的好奇心をもって、入学までに培った基礎学力をさらに広げ・深めていこうとする向上心をもっている。
- 経済学を中心に、経営、政策、法律、歴史、科学、思想、文学、言語などの幅広い分野にわたる教養を身につけ、それらを自らの興味関心と結びつけて自分の世界を広げていく向上心をもっている。
- 論理的思考を修得しようとする。
- 留学、スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得など、大学内外、国内外における学びのフィールドを有機的に結び付けて、自分の学びをデザインしていく行動力をもっている。
- 高い倫理観をもっている。

学部等名 現代政策学部

教育研究上の目的

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

(概要) 現代政策学部は、政策学を中核とする学びとリベラルアーツ科目の学びにより、地域社会とグローバル社会の課題発見・解決のための知識とスキルを活用できる人材、生涯にわたり自律的に学び続けることができる人材、および高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成すること、並びに幅広い学問分野において新しい価値を創造してその研究成果を教育や社会で実践することを教育研究上の目的とします。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成することを理念とします。 そのため、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの実践的な課題領域を設置し、政策学を中核とする幅広い知識とその応用スキルを身に着け、創造性、批判的思考、コミュニケーション能力や協働する力を涵養します。具体的には、次の8項目を教育目標とします。 ●課題発見・解決のために必要となる幅広い分野の学問知識、手法、および考え方を習得しその体系を他の分野と関連づけて理解できる能力。 ●自己の文化とアイデンティティについての深い理解とともに、異文化や多様な価値観を持つ人々と意欲的にかかわり、コミュニケーションする能力。 ●自然や社会の様々な事象に対しての数量的スキルと情報通信技術（ICT）を効果的に活用する力。 ●幅広い分野に対する知的的好奇心、および既成概念にとらわれない批判的、論理的思考力。 ●実践的な課題領域において、政策学をはじめとする様々な学問分野の知識を応用する能力と、課題を発見・解決し、複数の利害を調整する能力。 ●社会やチームの様々な場面において、他者と協働する力とリーダーシップ能力。 ●社会の一員としての高い倫理観を持ち、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力。 ●課題や目標に応じて自己を柔軟に再定義し、生涯にわたり学び続けることができる自律的な学習能力。 上記に掲げる資質や能力を身に着けたもので、本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修して130単位以上を修得し、5つの課題領域から専攻を選択し、所定の単位を修めたものに「学士（現代政策学）」を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 現代政策学部では、本学部のディプロマ・ポリシーを実現するために、基本科目、専門科目、関連科目、自由科目を配置します。 また、政策学の専門分野を確立するために、公共政策、ビジネス法務、医療福祉政策、地域イノベーション、および国際文化政策の5つの課題領域を配置します。2年次より、この課題領域から専攻を選択します。 ●政策学を学びの中核とし、その基礎的知識と手法を修得するための必修科目を配置します。 ●5つの課題領域ごとに選択必修のコア科目を定めます。 ●課外活動や事例研究をつうじて、地域社会及びグローバル社会の課題発見・解決の実現ができる人材を養成するため、必修の演習科目を全学年に配置し、統合的な能力を養います。 ●学問の基礎を学び、幅広い教養と多様な価値観を獲得するために、社会科学、人文学

学、自然科学の科目を配置します。

●日本語運用能力、数量的スキル、および情報通信技術（ICT）スキルを向上させる基礎教育科目を設定します。

●基礎的な外国語能力の習得のための科目を配置します。

●社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成するため、キャリア科目を配置します。

●心身の健康の保持と増進のために、スポーツ・保健体育科目を配置します。

●次世代の人材育成を目指す学生のために、教職に関する科目を自由科目として配置します。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

（概要）

現代政策学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、政策学を中核とする課題発見・解決のための幅広い分野の学びとリベラルアーツ科目の学びにより、生涯にわたり自律的に学び続けることができ、高い倫理観を持ち社会貢献できる人材を育成するための教育を行います。

そのために、本学部では、建学の精神と本学部の理念を理解し、かつ意欲をもって実践することを望む者で、以下に挙げる4つの資質の全てを有する学生を全世界から求めています。

●政策学およびリベラルアーツ科目の学修に必要な知識と技能。

●グローバルおよび地域の政策課題の学修に必要なレベルの日本語力と外国語力。

●新しい環境において学修できる適応力と柔軟性。

●自律的な学生生活を送り、目標達成をするために必要な主体性と協調性。

以上の資質の全てを有し、かつそれらのうち1つ以上の資質に秀で、社会貢献の意欲がある多様な学生を受け入れるため、本学部では以下の選抜試験を実施します。すべての選抜試験において、高等学校の調査書（または実践活動経歴書）の提出を課します。一般選抜および外国人留学生入学試験では、本学独自の筆記試験を課します。総合型選抜、学校推薦型選抜、および外国人留学生入学試験では、口頭試問を課します。

●一般選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。

●大学入学共通テスト利用選抜では、特に知識と語学力を高く評価します。

●総合型選抜では、特に適応力・柔軟性と主体性・協調性を高く評価します。

●学校推薦型選抜では、特に知識と主体性・協調性を高く評価します。

●外国人留学生入学試験では、特に大学での学習に適応できる日本語能力を高く評価します。

学部等名 経営学部

教育研究上の目的

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

（概要）

経営学部は、営利組織だけでなく非営利組織も含めた社会におけるすべての組織に適合するマネジメントを学際的に研究し教育することにより、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造するプロフェッショナルの育成を目指します。

卒業の認定に関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

(概要) 経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標としています。所定の単位を取得し、以下の知識・能力を修得したと判断された人に学士（経営学）を授与します。 ●幅広い教養とマネジメント（経営学、マーケティング、会計など）についての専門的知識 ●地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力（コミュニケーション・リテラシーとメディア・リテラシー） ●マネジメントに関わる問題や課題を自ら発見し、解決するための思考力・判断力・実践力 ●起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、社会や組織の中でリーダーシップを発揮し、価値を創造する能力 ●多様な人と協力し、市民としての高い責任感と倫理観をもって主体的に社会に貢献する能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 経営学部では、地域社会や国際社会で活躍する起業家精神（アントレプレナーシップ）をもったマネジメントのプロフェッショナルの育成を目標に掲げ、これを実現することを意図したカリキュラムを編成しています。 ●将来の幅広い進路に対応した経営学、マーケティング、会計の知識・技能・問題解決能力を修得する教育を行います。 ●経営学をはじめとする社会科学の基礎を広く理解し、社会や産業に関する事象をマネジメントの視点からとらえる能力を養う教育を行います。 ●プロフェッショナルとしてグローバルに活動する基盤を形成するための情報通信技術、英語、会計の基礎教育を行います。 ●地域の行政や産業と連携し、地域社会の活性化に貢献する教育を行います。 ●大学における学修および生活やその後の人生を充実させるための初年次・導入教育、教養教育を徹底します。 ●大学卒業後の社会生活に向けた職業観を形成し、実務知識を修得するキャリア教育を行います。 ●教員志望の学生に対して、体系的な教職課程教育と教職人材育成プログラムにより、優秀な教員となるための支援を行います。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 経営学部は、グローバルな視角とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造できるマネジメントのプロフェッショナルの育成を目指します。 経営学部の上記理念を理解し、本学での積極的な学習をとおして、企業・会計、環境・情報、行政・教育、健康スポーツ、観光・地域分野などで活躍することを目指す意欲をもっている人を受け入れます。 マネジメントを学ぶために必要である、高等学校での英語、国語、数学、社会系の科目（政治・経済、現代社会、倫理、日本史、世界史、地理など）の基礎学力を習得したうえで、以下の能力を有していることが望まれます。 ●論理的思考力や判断力、主体性など、自ら問題について考え、分析し、解決する能力 ●コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎能力 なお、語学、簿記、情報技術などの資格取得、生徒会、スポーツ・文化活動、ボランティア活動などで実績を示した人は、基礎的能力がある人材として高く評価されます。

学部等名 理学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 理学部は、理学の本質を論理的・実証的に解析・考察する能力をもち、複雑な社会情勢に適用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。 1. 数学科は、綿密な論理構成と数学的な思考法を社会に応用できる人材の育成を目指して教育研究を行う。 2. 化学科は、化学的思考力と実験技術を併せもち、社会に貢献できる人材の育成を目指して教育研究を行う。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適用できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（理学）の学位を授与します。 理学部数学科では、論理的思考ができ、現実の諸問題を数理的に解明し解決できる能力を備えた人材、および中学・高校の数学教員として教育現場で教育を行うことのできる能力を備えた人材を育成することを目標として、以下の態度、意欲、技能を習得することを目指した学位授与方針を満たした人に学士の学位を授与します。 ●数学の知識と応用によって現代社会の多様な問題を数理的に理解する態度と問題を解決しようとする意欲（態度と意欲） ●数理科学の知識とコンピュータ技術によって現代社会の多様な問題の解決に貢献する技術と能力（技術と能力） 理学部化学科は、社会が持続的に発展するために必要な人材の育成を目標として、以下の能力を修得した人に学士の学位を授与します。 ●大学課程の化学に関する専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力 ●化学の修得をつうじて獲得した、社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的素養 ●修得した化学の知識と技能を基礎として、社会の多様性に配慮して主体的かつ協働的に実社会に貢献できる能力 ●教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html) (概要) 理学部では、綿密な論理構成と数学的な思考法、または化学的思考能力と実験技術を併せもち、地域社会や国際社会において活用できる人材の育成のために、次の科目を用意しています。 ●基礎的な英語の習得と高等学校と大学の橋渡しのための「基本科目」 ●幅広い人間性を養うための「関連科目」 ●数学・化学の専門性を養うための「専門科目」 ●教育職員免許状取得のための「教職関連科目（自由科目）」 理学部数学科のカリキュラムは、本学の理念を達成するため、初年次に開講される新入生向けの科目の学修により、ディプロマ・ポリシーで掲げた態度、意欲、技能の修得の基礎となるための教育を行います。さらに、数学の専門分野の知識と技能が身につけられるように基本科目、関連科目および専門科目などの科目を設置し、段階的、体系的な

カリキュラムを提供します。また、数学的な知識や技能を用いて国際社会で活躍するために、英語を通じてディプロマ・ポリシーで掲げた能力を身につけます。教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な知識と技能を身につけるための科目を設置します。

理学部化学科のカリキュラムは、本学の理念を達成するため、初年次の開講される新入生向けの科目の学修により、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力の開発および定着の基礎となる学習を徹底します。また、化学をつうじて国際社会で活躍するために、英語をつうじて化学を理解するための教育も行います。さらに、化学の専門分野の知識と技能が身につけられるように基本科目、関連科目および専門科目などの科目を設置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成してディプロマ・ポリシーで掲げた能力を獲得します。教職を志望する人には、その職務の遂行に必要な知識と技能を身につけるための科目を設置します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>)

(概要)

理学部では、理学の本質を論理的、実証的に解析・考察する能力と、複雑な社会情勢に適応できる能力を身につけるための教育を実践するために、自ら学ぶ主体性と意欲を持ち、物事の課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。

理学部数学科では、数学の学習をつうじて人間形成を行うことを目指し、数学の知識をもって現代社会の要請にこたえて活躍できる以下のような人を求めています。

●数学に関する教養を広め、専門知識を習得するため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人

●数学における課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人

●数学に関する知識や技能を用いた活動歴があり、本学でさらにスキルアップを期待する人

学校推薦型選抜（総合型選抜含む）による入学者の受け入れでは、上記の項目に加え以下の点にも留意して審査・評価します。

●数学科のディプロマ・ポリシーに対する適性

●数学の修得に必要な基礎学力と専門教育に関する教科の理解度

●学力だけでは計ることのできない能力や意欲、将来の可能性

●教職を含む各種資格取得など、明確な志望動機

高校では英語、数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B)を履修していることが望ましい

理学部化学科は、城西大学の建学の精神と目標を理解するとともに、本学の教育方針に共感する以下のような人の入学を期待します。

●化学に関する教養を広め、専門知識の向上、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人

●化学における課題や問題点を考え、解決するために意欲的に努力する人

●化学に関する学業、調査・研究などの分野で優れた活動歴があり、本学でさらにその分野の可能性を伸ばしたい人

学校推薦型選抜（総合型選抜含む）による入学者の受け入れでは、上記の項目に加え以下の点にも留意して審査・評価します。

●化学科のディプロマ・ポリシーに対する適性

●化学の修得に必要な基礎学力と専門教育に関する教科の理解度

●基礎学力として高等学校で英語、国語、数学、理科を履修し、理科では化学の他、生物や物理も履修することが望ましい

●学力だけでは計ることのできない能力や意欲、将来の可能性

●教職を含む各種資格取得など、明確な志望動機

学部等名 薬学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 薬学部は、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを教育研究の目的として、次の人材育成を目指します。 1. 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、教育研究を通して医療人としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。 2. 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、教育研究を通して研究者・技術者としての専門知識と実践力、さらには倫理性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目指します。 3. 医療栄養学科は、教育研究を通して人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指し、さらに医療における栄養学の高度化を目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html)
(概要) 薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士（薬学、薬科学、医療栄養学）の学位を授与します。 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。 ●医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を備え、関連する広範な分野で活躍する能力 ●医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力 ●医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点をもって積極的に利用する能力 ●医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力 ●栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師として、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する能力 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。 ●人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力 ●研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力 ●研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力 ●薬学、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力

●薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（医療栄養学）の学位を授与します。

●医療人としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力

●医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力

●医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力

●医療制度、他職種の役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力

●医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

（概要）

薬学部では、自立した社会人としての意識づけを行うことと、外国語の習得のための「基本科目」、幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目」を配置しています。さらに、医療や健康に関して高い専門性を有した医療人・技術者の育成に必要な「専門科目」を配置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成しています。

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

●医療人・薬剤師としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナーや総合薬学分野Ⅰが準備されています。

●基本科目としての英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。

●医療人・薬剤師としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。

●生理・治療分野および医療薬学分野に配置されている栄養関連の科目をとおして食、栄養に関する知識を深め、食をつうじて人々の健康を護る能力を併せもつ薬剤師の育成を目指します。

●総合薬学分野Ⅱに配置されている科目によって、医療・介護・福祉制度、多職種の役割を理解し、高度医療への対応力と、社会の多様性に対応して関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる薬剤師になる能力を養います。

●実務実習、専門語学科目をつうじて、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する薬剤師の育成を目指します。

●卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 生活者を支援する研究者・技術者としての自覚を育て、道徳的能力および幅広い教養と豊かな人間性を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー、総合薬科学分野Ⅰの医薬品・食品・化粧品概論など、さらに関連科目を配置しています。
- 基本科目は、大学における学習方法や、学生生活の指導をつうじて自立した社会人としての意識付を行い、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科目を配置しています。
- 専門科目（総合薬科学分野、基礎薬科学分野、生理・治療分野および医療薬科学分野）は、薬、食および化粧品などとして開発・生産される化学物質に関する知識集約型産業分野において活躍できる高い専門性を有する研究者・技術者を養成するために配置しています。
- 関連科目には、幅広い教養と豊かな人間性を養うために、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目を配置しています。
- 異文化理解力および国際的コミュニケーション力の向上を目指し、海外姉妹校で単位を修得するセメスター留学制度を設けています。
- 薬科学卒業研究、専門語学科目をつうじて、研究者・技術者として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を養います。
- 薬科学卒業研究では、研究の基礎となる課題発見能力、問題解決能力、自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション能力を身につけます。
- 臨床検査技師の素養・資格をもった薬科学技術者を目指す人のために、必要な科目を必修、選択および自由科目として配置しています。
- 中学校・高等学校教諭（理科）を目指す人のために、教職関連科目を配置しています。

医療栄養学科では、「幅広い教養と豊かな人間性を有し、地域社会ならびに国際社会において活躍できる専門性を身につけた管理栄養士の養成」を達成することを目標としています。

この教育目標を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・管理栄養士としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー演習、医療栄養学概論・演習が準備されています。
- 基本科目として英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。
- 医療人・管理栄養士としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつうじて養います。
- 専門科目の基礎医療栄養学分野、衛生・公衆栄養学分野、医療栄養学分野の科目によって、医学、薬学の素養を有する栄養学のスペシャリストの育成を目指します。
- 関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 臨地実習、専門語学科目などにより、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する管理栄養士の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。
- 専門科目の中から所定の単位を取得することにより、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格を得ることができます。また、栄養教諭を目指す人のために、「教職関連科目（自由科目）」を用意しています。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/policy/index.html>）

(概要)

薬学部では、「人々の主観的 QOL (quality of life : 生活と人生の質)」を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材を育成します。よって、医療・健康分野で貢献できる人材として、薬学部における知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- かかりつけ薬剤師として地域社会で暮らす人々の健康増進に貢献したいと考えている人。
- チーム医療の場で多職種と連携して活躍したいと考えている人。
- 食と栄養に強い薬剤師になりたいと考えている人。
- グローバル化する社会に対応できる薬剤師になりたいと考えている人。
- 薬剤師として求められる研究力を身につけ、薬学と医療の発展に貢献したいと考えている人。

期待する能力：知識・専門性

- 薬学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 高等学校で履修すべき教科・科目 英語、国語、数学、化学（物理・生物も履修することが望ましい）。

期待する能力：態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、薬剤師資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- 医薬品関連、機能性食品、化粧品や機能性化粧品などの研究者または開発者になりたいと考えている人。
- 生命科学関連の研究者になりたいと考えている人。
- 薬科学研究者・技術者として、グローバル化する社会に貢献したいと考えている人。
- 医薬品、機能性食品、化粧品分野で起業したいと思っている人。
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働きたいと思っている人。

期待する能力

- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 高等学校で履修すべき教科・科目 英語、国語、数学、理科（化学、生物）（物理も履修することが望ましい）。
- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	300 人	329 人	109.7%	1,200 人	1,303 人	108.6%	欠員の範囲	5 人
現代政策学部	250 人	249 人	99.6%	1,000 人	1,163 人	116.3%	欠員の範囲	2 人
経営学部	500 人	502 人	100.4%	2,000 人	2,069 人	103.5%	欠員の範囲	16 人
理学部	210 人	196 人	93.3%	840 人	824 人	98.1%	欠員の範囲	0 人
薬学部(4 年制)	150 人	138 人	92%	600 人	551 人	91.8%	欠員の範囲	0 人
薬学部(6 年制)	250 人	174 人	69.6%	1,500 人	1,423 人	94.9%	欠員の範囲	0 人
合計	1,660 人	1,588 人	95.7%	7,140 人	7,617 人	106.7%	欠員の範囲	23 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	272 人 (100%)	3 人 (1.1%)	225 人 (82.7%)	21 人 (7.2%)
現代政策学部	277 人 (100%)	3 人 (1.0%)	207 人 (74.2%)	58 人 (20.9%)
経営学部	518 人 (100%)	7 人 (1.4%)	444 人 (85.7%)	34 人 (6.6%)
理学部	203 人 (100%)	12 人 (5.9%)	176 人 (86.7%)	8 人 (3.9%)
薬学部	376 人 (100%)	59 人 (15.7%)	274 人 (72.9%)	37 人 (9.8%)
合計	1,646 人 (100%)	84 人 (5.1%)	1,326 人 (80.6%)	150 人 (9.1%)

進学先（大学院）

経済学部：明治大学、東京学芸大学、城西大学

現代政策学部：大阪大学、明治大学、同志社大学

経営学部：青山学院大学、立教大学、順天堂大学、城西大学

理学部：宇都宮大学、千葉大学、名古屋大学、九州大学、埼玉大学、静岡大学、東北大学、城西大学

薬学部：城西大学、千葉大学、静岡大学

就職先

経済学部：川口信用金庫、㈱群馬銀行、㈱東和銀行、第一生命保険相互会社、中央労働金庫、飯能信用金庫、水戸証券㈱、リそなグループ、㈱沖電気コミュニケーションシステムズ、富士ソフト㈱、大林ファシリティーズ㈱、積水ハウス㈱、東電用地㈱、ミサワリフォーム㈱、富士機材㈱、丸七商事㈱、ユアサ・フナシヨク㈱、イオンエンターテイメント㈱、コムテック㈱、日本瓦斯㈱、日本郵便㈱、東日本旅客鉄道㈱、柏市役所、

現代政策学部：秋田県警察、熱海市消防本部、北本市立中央図書館、陸上自衛官、航空自衛官、坂戸市役所、栃木県警察、富山県警察、福島県警察、松戸市消防局、㈱テレビユー福島、㈱マイナビ、ヤマトシステム開発㈱、高砂熱学工業㈱、三和シヤッター工業㈱、㈱明治、㈱大塚商会、協栄産業㈱、㈱久世、照産商事㈱、青木信用金庫、西京信用金庫、東栄信用金庫、㈱ホンダファイナンス、明治安田生命保険相互会社、上尾中央医科グループ、埼玉精神神経センター、戸田中央医科グループ、㈱ANAケータリングサービス、㈱カナメ、㈱京急イーエックスイン、日本郵便㈱、㈱リクルートスタッフィング情報サービス

経営学部：㈱北日本銀行、埼玉縣信用金庫、さわやか信用金庫、栃木銀行、氷見伏木信用金庫、長野信用金庫㈱、山ロフィナンシャルグループ、大塚商会㈱、海光電業㈱、昭産商事㈱、商船三井客船㈱、伸晃化学㈱、小島電機工業㈱、㈱ベイクルーズ、㈱ローソン、東日本旅客鉄道㈱、東武エンジニアリング㈱、㈱日立物流、日本郵便㈱、羽田空港サービス㈱、ヤマトロジスティクス㈱、㈱コーセー、㈱しまむら、Dynabook㈱、東鉄工業㈱、㈱東京発条製作所、日清医療食品㈱、日鉄鉱業㈱、㈱LIXIL、ヤクルト本社、ワールドコーポレーション㈱、㈱ユニクロ、㈱飯田産業、鹿島道路㈱、スターツコーポレーション㈱、住友林

業ホームサービス㈱、大成有楽不動産販売㈱、大東建託㈱、三井不動産リアルティ㈱、三井ホーム㈱、三菱地所ハウスネット㈱、ソフトバンクグループ、東武トップツアーズ㈱、タイムズ24㈱、㈱伊東園ホテルズ、㈱日本旅行、㈱プリンスホテル、㈱セレスポ、JR 東日本スポーツ㈱、㈱ダンロップスポーツウェルネス、㈱ADKホールディングス、ANA エアポートサービス㈱、㈱サイサン、日本年金機構、日本瓦斯㈱、㈱金沢医科大学、㈱城西大学、警視庁、警視庁職員信用組合、坂戸・鶴ヶ島消防組合、高知県警察本部、埼玉県警察、自衛官、栃木県警察、長野県警察 理学部 ：朝日工業㈱、亜細亜工業㈱、アプライドマテリアルジャパン㈱、㈱イワキ、小島化学薬品㈱、コスメテックスローランド㈱、シグマ光機㈱、㈱シーボン、㈱資生堂、資生ケミカル㈱、中本パックス㈱、日本製罐㈱、㈱フジキン、フクダライフテック関東㈱、UCC コーヒープロフェッショナル㈱、ムトーアイテックス㈱、㈱江東微生物研究所、㈱スズヤス、医療生協さいたま病院、日本情報産業㈱、日本情報システム開発㈱、ヤマトシステム開発㈱、㈱東和コンピュータマネジメント、㈱OSK、㈱ムーンスター、スタート出版㈱、埼玉縣信用金庫、㈱東和銀行、水戸証券㈱、目黒信用金庫、埼玉県公立中学校、私立桐生第一高等学校、吉見町立小学校、国立大学法人信州大学、茨城県つくば市立豊里中学校、柏市立第五中学校、中央学院高等学校、三郷市立三郷南中学校、毛呂山町中学校、幸手市立小学校、私立エクセラン高等学校、私立飛龍高等学校、私立西武学園文理中学・高等学校、花巻市役所、和歌山県那智勝浦町役場、三郷市役所 薬学部 ：クラフト㈱、セキ薬品㈱、エイターヘルスケア㈱、アストラゼネカ㈱、第一三共㈱、㈱クリエイトエス・ディー、㈱サンドラッグ、㈱ココカラファイン、㈱マツモトキヨシ、㈱原田・ガトーフェスタハラダ、大正製薬ホールディングス、合資会社エムファーマ、日清医療食品㈱、日本マクドナルド㈱、(学)埼玉医科大学、(学)獨協医科大学埼玉医療センター、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、国立病院機構関東信越グループ (備考) ※1 その他に未内定者含む。
--

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	328 人 (100%)	247 人 (75.3%)	34 人 (10.4%)	47 人 (14.3%)	0 人 (0%)
現代政策学部	301 人 (100%)	216 人 (71.8%)	30 人 (10%)	55 人 (18.3%)	0 人 (0%)
経営学部	605 人 (100%)	479 人 (79.2%)	33 人 (5.5%)	93 人 (15.4%)	0 人 (0%)
理学部	268 人 (100%)	192 人 (71.6%)	31 人 (11.6%)	45 人 (16.8%)	0 人 (0%)
薬学部	525 人 (100%)	305 人 (58.1%)	118 人 (22.5%)	102 人 (19.4%)	0 人 (0%)
合計	2,027 人 (100%)	1,439 人 (71%)	246 人 (12.1%)	342 人 (16.9%)	0 人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）シラバスに科目担当教員が授業の目的、目標、学修成果、到達目標、授業毎に講義の内容等を公表しています。
さらに授業の方法や成績評価方法、オフィスアワーの時間帯、居住等も記載しています。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 年度末に開催される各学部の卒業判定教授会において、最終学年（４年生〈薬学科は６年生〉）の成績評価表をもとに、それぞれの学部にて定められた卒業要件の科目の成績が適切に評価されているかの確認をしたうえで、卒業の可否を決定する。〔各学部において定められた分野の科目の評価を確認〕 なお、学生に対する卒業可否についての発表は「卒業発表日」（年間行事予定表に掲載）を行う。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	1 2 8 単位	有 無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
現代政策学部	社会経済システム学科	1 3 0 単位	有 無	48 単位
経営学部	マネジメント総合学科	1 3 2 単位	有 無	1 年生 48 単位 2 年生以上 44 単位
理学部	数学科	1 2 4 単位	有 無	49 単位
	化学科	1 2 8 単位	有 無	1 年 49 単位 2 年生以上 48 単位
薬学部	薬学科	1 8 6 単位	有 無	49 単位
	薬科学科	1 2 4 単位	有 無	49 単位
	医療栄養学科	1 3 1 単位	有 無	49 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.josai.ac.jp/about/campus/index.html なお、紙媒体の大学案内にも掲載しております。 ＊紙媒体入手方法 城西大学入試課宛てに電話の上入手可能 TEL 049-271-7711（直通）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済学部	経済学科	670,000 円 (現代政策学部 2017 年度生以前 690,000 円)	300,000 円	284,000 円 (2 年目以降は 184,000 円)	施設設備費
現代政策学部	社会経済システム学科				
経営学部	マネジメント総合学科				
理学部	数学科	850,000 円	300,000 円	284,000 円 (2 年目以降は 184,000 円)	施設設備費
	化学科	963,000 円	300,000 円	402,000 円 (2 年目以降は 302,000 円)	施設設備費

薬学部	薬学科	1,460,000 円	500,000 円	611,000 円	施設設備費
	薬科学科	1,260,000 円 (2017 年度生以前 1,460,000 円)	400,000 円	486,000 円	施設設備費
	医療栄養 学科	1,380,000 円	300,000 円	306,000 円	施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組	
(概要) ①学内奨学金として、入学成績上位者に対する授業料減免制度、学業成績・人物優秀者に対する授業料減免制度、経済困窮者への経済支援奨学金制度、本学独自制度による海外留学に伴う奨励制度、海外からの留学生に対する授業料減免制度、学費支弁者の死亡による授業料・施設整備費の全額補助制度があります。 ②学外奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体の奨学金を活用し支援を行っています。 ③障がい者には、学生サポート、学内のバリアフリー化等、可能な限りの支援を行っている。 ④学部学生には、選考により、教育的配慮の下に学内業務に従事させ、経済的援助を行い、修学の奨励を図っています。(ワークスタディ・プログラム制度) ⑤図書館においては、論文やレポートの書き方のアドバイス、文献の探し方やパソコンの使い方を教える、学生アドバイザーを配置し学習支援にあたっています。	
b. 進路選択に係る支援に関する取組	
(概要) 将来の進路を意識した大学生活を一人一人が安心して過ごせるよう、様々なサポート体制を整備し、全力でサポートをします。 進路選択に係る支援(キャリアサポート)については、きめ細かな個別指導、充実した対策講座・ガイダンス及び就職活動情報の適時適切な提供をすることでサポートしています。 ①きめ細かな個別指導 1 年次～4 年次まで各学年に合わせたサポートをキャリアカウンセラー(国家資格キャリアコンサルタント資格保有職員)が行っています。特に 2 年次からは学生一人一人に対し、進路・職業への一般的な相談からエントリーシート・履歴書の書き方、模擬面接等の実施まできめ細かく、懇切丁寧に個別指導をします。 ②充実した対策講座・ガイダンス 2・3・4 年生、夫々の特性に応じた対策講座・ガイダンスを用意し、進路選択・進路決定に資するようサポートします。 ③就職活動情報の適時適切な提供 城西大学求人管理システム、城西大学就活アプリ等を活用して、最新の求人・インターンシップ・対策講座・各種ガイダンス情報の提供を行うとともにハローワーク等と密接に連携しています。	
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組	
(概要) ①保健センターは看護師が定期健康診断、突発的な怪我や病気等に対応を行っています。 (ア) 授業中に気分が悪くなったとき (イ) 課外活動中の怪我をしたとき (ウ) 持病をもっている学生の健康管理 (エ) 週一回内科医による健康相談が可能です。 (オ) 神経科・心療内科医師による悩みごと相談が可能 ②学生相談室は、公認心理師、臨床心理士が学生の悩みごとや心配ごとなどに対応をしています。 (ア) 学生支援が必要な学生に対し、担当学部、学科の教職員と調整を行い授業が受けられるよう支援 (イ) 課外活動、学業のこと、友人関係のことなどの悩みごとなど対応	

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.josai.ac.jp/about/information/kohyo/publication.html>